

福知山市の教育目標『自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成』
川口ブロックの教育目標『夢を持ち、心豊かでたくましく生きる人間の育成』

『かわぐち』

川口ブロック小中連携・小小連携通信

「川口ブロック」の
主な小小連携・小中
連携の取組

令和2年3月
川口ブロック教育研究部
上川口小学校 金谷小学校
川口中学校

「1年間を通した取組」小小連携・小中連携

小中連携の取組では、10月「みんなの登校日」、11月「演劇鑑賞『いのちの花』」、1月「オープンスクール」を行いました。また、小小連携では、上川口小学校・金谷小学校の統合に向けて、4～6年生が2校合同で取り組む行事を多く行いました。

1年間を通して合同での宿泊研修（5年生）・修学旅行（6年生）をはじめ、2校合同学習参観や、2校合同社会見学を行いました。（宿泊研修・修学旅行は、夜久野小学校を加えた3校合同で実施）

○4年生

2学期は、社会科で「安全な暮らしを守る」という学習をしました。10月には合同で防災センターや警察署に行き、災害や事故から人々の安全を守る仕事や地域の人々の働きについて学習しました。

3学期は、命と性に関する学習を合同でしました。「思春期にあらわれる変化」について学びました。



○5年生

6月には、川口・夜久野ブロックで1泊2日の移動教室へ行きました。マリナーに宿泊し、カッター訓練や海洋高校での魚の学習、天橋立でウォークラリーなどをして三校の絆を深めました。10月には、社会見学で再会し、三田市の消防車製造工場や新聞印刷工場を見学し、社会科で学習する内容について自分の目で確かめることができました。

また、10月、11月、12月には、それぞれ1回ずつ合同授業を実施し、音楽、人権学習、性に関する学習をしました。来年度の統合に向けて、金谷小学校の児童と共に学習することの楽しさを味わいました。



○6年生

6年生は修学旅行、駅伝大会がありました。事前学習会などを含め、計7回合同学習を行いました。1月に行った「食に関する学習～健康的な生活を送るために」の授業を紹介します。

① 栄養のバランスのよい食事の組み合わせを知ることにより、健康を考えた食事をしていこうとする意欲を高めさせる ② 砂糖の摂り過ぎは健康に害があることの2点を理解させることをねらいとして行いました。この学習を通して、栄養を考えた1食分の献立の立て方を理解することができました。また、日常的に摂取する飲料やお菓子の中に想像を超える砂糖が含まれていることを理解できました。

合同学習を通して、多様な意見を出し合ったり、交流を深めたりすることができました。



「学び」小中等連携推進加配の活動

上川口小学校3～6年、金谷小学校4～6年生の算数科の授業に入り、児童への指導を行いました。指導形態として、担任が授業を進め、連携推進加配が机間指導をしたり、連携推進加配が授業を進め、担任が机間指導を行ったりするチーム・ティーチング授業を行うなど、学級の実態に応じた授業を展開しました。また、連携推進加配が数学科の専門性を生かしつつ、担任と連携しながら授業の展開をしていきました。

どの児童も、課題に一生懸命に取り組み、力をつけています。特に、6年生では中学校での学習につながる指導を意識しました。2月より高学年で学習する内容を中心に、6年間のまとめの学習に入りました。昨年12月に行われた「標準学力調査」の結果分析を行い、まとめの学習と並行して、児童が苦手とする分野を見つけ、その内容の定着を図りました。中学校入学後の学習がスムーズに進むように、取組を進めました。

<成果や見えてきたこと・意識してきたこと>

- ・4年生以上のどの学年においても「式の記述」や「解答の記述」の仕方について一貫した指導を行い、中学校の数学の学習がスムーズに進められるよう指導しました。学年によっては、宿題など提出物の丸付けを行い、間違いについて指導・助言することにより、児童一人一人の良い点や苦手としている点などを把握することができ、授業に生かしていくことができました。
- ・算数の授業を行っていくことで、児童・生徒が「どこでつまずきやすいか」が見えやすくなり、つまずきやすい点を、中学校での数学の指導にも役立てることができました。
- ・児童の様子を担当だけではなく、スクールカウンセラーや中学校の教師にも伝えていくことにより、これから中学校に入学してくる児童についても交流することができました。逆に、小学校の先生方には、中学校に入学してきた生徒の様子を伝えることができました。

小学校の先生から見た、連携推進加配の授業で感じたことなど

- ・ICTを活用した授業で児童にとって視覚的な教育支援となっていた。
- ・児童にとって見やすく板書するため、ポイントは、黄色のチョークを使用するなど、ユニバーサルデザインの授業づくりをともし行えた。
- ・計画的に学習を進めていただき、習熟の時間も確保されていた。
- ・小中連携推進加配が、算数の授業に入ることで授業進度に応じて、計画的に練習プリント等を準備することができていた。
- ・児童の学力保障のため、複式学級を単式化した算数の授業は大きな助けとなった。
- ・児童の課題に即した学習プリントを準備していただき、助かった。
- ・研究授業も行っていただき、事前研・事後研にも参加していただけたので、学び合える場になった。
- ・2学期からお世話になり、児童の学習の理解がより深まり、ありがたかった。
- ・児童のつまずきを見つけていただき、ここというところで前に出て指導していただき、いつも心強く思いました。

終わりに

次年度より「1小学校1中学校」になり、これまでよりも小中9年間を見通した指導を充実すべく、小中連携等推進加配の役割を明確にし、柔軟な指導につながっていくよう、取組を進めていきます。